

# 審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

課所名

総務課

会 議 名 令和7年度 第2回 諏訪市議員報酬及び特別職給料審議会

開催日時 令和7年 9月 25日(木) 13時 30分 から 15時 30分まで

出席者 (出席者(順不同敬称略))  
**【委員】** 山谷 恭博、太田 篤憲、白鳥 和美、宮沢 幸一、鴨志田 明子、矢沢 康孝  
 渡辺 芳紀、名取 まゆみ、宮下 和昭、北原 弘子  
**【事務局】** 松木総務部長、坂上総務課長、幅職員係長、岩波主査

資 料 第1回配布資料  
 諏訪市の財政関連資料 等

## 協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

### 1. 開会

### 2. 協議事項(会長による進行)

#### (1) 第1回審議会における委員からの意見の確認及び追加資料の説明

会長…事務局からの説明を受けて改めて確認や聞きたいことがある委員がいらっしやれば挙手願いたい。

委員…議員活動・議会日数の時間はどのくらいか。また、教育長は毎日出勤しているようですが、教育長の仕事についてお聞きしたい。

市…会期は17～23日程度が年4回ある。このうち9日は自宅審査期間にあたる。

教育長は主に校長会や例えば今動いている南部地区教育再編大綱の作成、夢プロジェクトなど学校関係の様々な会議に出席している。

会長…給与構造改革で減額に至った経過について。その主たる要因について説明してほしい。これは義務的に下げざるを得なかったのか。

市…国、地方が財政的に厳しくなっている中で、公務員の給料表そのものが大きく減額となった。

市…給料表そのものが変わった。人事院勧告に基づき民間企業をベースに上げ下げする。賞与も同様。

会長…この間議員の給与が変わらなかったのはどういうことか？

市…職員の給与は人勧によって、理事者及び議員の報酬は報酬審の開催によって決定する。

理事者の給与については4年に1回実施している、今回は議員側から依頼があったことにより実施。

会長…議員定数を減らしたときに、人件費を上げなかったという経緯がある。その辺が議論にもなっている。また、部課長級で12,010円、係長で20,010円が下げられたが、議員は下げ

なかったということは、基本的に上げたと同じ。この辺りも踏まえて、具体的な審議に入りたい。自宅での審議をしてきていただいたが、それぞれの委員の個人の意見をそれぞれ発表してもらいたい。

委員・・・各議員に聞き取りを行った。会社役員が4名、自営業4名、市議会議員専属が4名、農業、政党職員、会社員が各1名。家庭を持つ、子どもを持つ家庭ではなくもう少し大きくなっているお子さんが多い世帯。個人的な意見としては、全国の市町村、町村会の原価方式の計算例というものがあり、それに基づいて市長の給与と議員報酬を見た。

議員の稼働日数が市長と比べると約36%の稼働。これを各報酬等で勘案すると大体妥当な金額といえる。また、過去の給与構造改革で実際には職員は減額されたことを考慮すると議員定数を減らした時の話は別にしてもここで上げることの根拠はないのではないかと。

あと、前回話があった議会で寝ているとか議員のモラル、資質については、議員自身が自ら考えるべきであって、この審議会ではテーマにしない方が良いのかなと判断した。それから岡谷市、茅野市が議員定数の改正をやっておられますので、これについても4年後の審議会に付したほうが良いのではないかと考えているところです。

委員・・・結論としては改定の必要はないと考える。仮に改定と考えると報酬の1%以内の増額を提案する。要因としては、民間企業から見ると議員報酬は十分高額である。春闘での賃上げは上げるのは人手不足により新卒者に選択される企業であるために若年層の賃上げをしていることが主である。中高年層・管理職については賃金の1%の賃上げにとどまっている。そういった点を考慮したもの。

委員・・・据え置きという考えもわかるが、物価の上昇を考慮すると、1%以下くらいの増額はあってもいいのではないかと考える。各業種が上がっていることも無視できないと考える。

委員・・・議員の報酬を見ると係長よりも良いくらい。働く日数は係長の半分程度そのため、十分ではないかと思う。首長についてはその政策によって人口が変わってくる。人口が減れば市税が減る。減ると使えるお金が減ってくることをどのように反映させるか。副市長と教育長についてはもう少し下げてもいいのではないかとという見解。

委員・・・諏訪市の財政状況について事前に質問して回答をいただいた。堅実な財政運営をしていることがよく分かった。一方で、これから大きな投資をしていくこと、現状の堅実な財政運営の状況を考慮すると、特別職の給与については現状維持が妥当ではないか。

議員の報酬については、時代の情勢・景気に合わせるものではないということは前回の審議会でも分かった。現在の額は多いとも感じるが、下げることでこれからのなり手がなくなるものとも感じるので妥当だと思っている。

委員・・・議員報酬及び特別職給料のいずれについても据え置きでよいと考える。市の財政を考え見たときにここで上げるという理由にはならないと、年間の稼働日数なども考慮しても現状維持が妥当ではないか。

将来的ななり手不足については同時に考えていく必要がある。

委員・・・いずれも据え置きが妥当と判断。前回の審議会後、市の財政状況を見て健全な運営をしているが、歳出面では義務的経費の上昇しており、今後も増大することが予想される。そういった状況から考えて、歳出が膨張していくという状況を理解いただき据え置きにご理解いただきたいと考える。なり手不足の際には再度検討しないといけない問題ではあるが、定員が充足している現状ではまだその状況ではないと考える。

委員・・・議員への委員長手当や政務活動費を議員報酬と一体化するなどといった意見もあった。首

長の給与と比較するとバランスが良いといえるため据え置きでよいと考える。

委員…据え置きでよいと考える。市の職員が景気によって左右される、市が大型事業を抱えていることを考えると妥当ではないか。私自身も一市民としての感覚で考えるとこのくらいが妥当ではないかと感じる。

委員…現状維持でよいと考える。少し話が逸れるが、諏訪湖にヒシがすごかった。本気度を示して、市民に伝える、伝われば報酬があがってもいいと思ってもらえる環境ができるのでは。どのようなことをしているか議員がどのような取り組みをしているかもう少し発信ができればいいと感じる

会長…みなさんからの意見を一通りいただいた。据え置きという意見が大多数であった。ここで皆さんの意見についての質問等があればいただきたい。

委員…期末手当については、民間企業でいうところの賞与にあたるものという認識。前回からの審議会でその年の定まった率で一律に支給されるとのこと。その期間の実績に対する評価もなく支給というのは少し腑に落ちない部分もある。

委員…期末手当が一律で支給される。極端な話、頑張っても頑張らなくてももらえるボーナスということ。ただ、人口が減っていく中でなり手も少なくなっていることも考えるとここは仕方ない部分か。

会長…商工会議所の中では、下げるべきではないかという意見も多い。おおよそ年間で700万円の収入というのはこの地域で見たときにすごく割合としては少ない部類になる。議員のなり手という話があったが、まずは切り離して考えたほうが良いのではないか。議員をやるという以上、少なからずボランティアになる部分というのはある。その上で、民間企業と同様に景気の影響というのをどう考えるかということになると思う。

委員…少しでも上がれば今以上にやる気になる。下がればやはりモチベーションは下がってしまうのでは。議員もお金をもらっているからやっているものではないが、なり手の問題で子育て世帯がなかなか議員をやろうと考えられないなら、子育て手当などを検討していくのも一つの案では。

会長…議員報酬を生活給で見るか、あくまで報酬で見るかでやはりその辺の議論は変わってくると感じている。

会長…会議の終了時刻も近づいてきているので、本日ここで結論を出すのか、それとも10月にもう一度審議会を開き、そこで結論を出すのか、一度採択したい。

【全員：本審議会で結論を出す】

【特別職給与：据え置き9人(全員同意)】

【議員報酬：据え置き9人(全員同意)】

会長…ありがとうございました。それではこの内容で答申へ進みたいと思います。

今回、答申については据え置きということですが、議論の中でいろいろと議員のあり方や今後を見据えた中で各委員からもご意見をいただきました。そういった内容を、付帯決議

をつけて提出をしたい。

人口減少が進んでいく中で、諏訪市もコンパクトシティ化を進めている。今後いろいろと変動が起こることが予想される中で議員の歳費・定数について将来的に対応するための議論をしていただくようお願いしたい。

委員・・・今回議論の対象となった、特別職及び議員についてどのようなこと(活動・会議)に出席をしているか発信することを検討してほしい。

### 3. その他

答申については会長に一任する。日程及び内容については別途相談することとした。